



平成 31 年 2 月 7 日

各 位

東京都渋谷区恵比寿一丁目 20 番 8 号

株式会社オールアバウト

代表取締役社長 江幡 哲也

(コード番号：2454)

問い合わせ先 取締役執行役員 C A O 森田 恭弘

電話 03-6362-1300

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 2 月 7 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 9 月 20 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	15,400	380	330	220	16.79
今回修正予想 (B)	14,600	0	△50	△45	△3.43
増減額 (B - A)	△800	△380	△380	△265	
増減率 (%)	△5.2	△100.0	—	—	
(ご参考) 前期連結実績 (2018 年 3 月期)	13,941	668	659	326	24.62

2. 修正の理由

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、コンテンツマーケティングの堅調な推移等により、売上・利益ともに概ね前回発表予想からの大幅な乖離はございません。

コンシューマサービスセグメントにつきましては、サンプル百貨店およびファッション EC 「MUSE&Co.」を運営する「トライアルマーケティング&EC」領域において、カテゴリーマネジメント（注 1）の運用精度が低調に推移したことにより販売機会の減少や滞留在庫の発生を招き、売上高は 112.6 億円の計画が 105.9 億円の見込となりました。営業利益については、上記売上の減少に伴い 2.0 億円、滞留在庫の影響により 1.4 億円、それぞれ減少する見込となりました。

なお、カテゴリーマネジメントの改善に向けて、社内運用体制の整備に取り組んでおり、現時点で、

受注の復調、滞留在庫の削減が進行しております。

以上の結果、平成31年3月期の売上高は14,600百万円、営業利益が0百万円、経常利益が▲50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が▲45百万円の見込となりました。

当社グループは、当期を、2020年度の収益拡大、および継続成長を図るための事業基盤構築における投資期として位置付けております。この方針のもと、当社は、2017年3月に日本テレビ放送網株式会社と、そして2018年5月に株式会社NTTドコモと資本業務提携を行っており、来期以降の提携効果を上げるべく、利用者規模とデータ資産の非連続な拡大、ネット動画分野への取り組み等、同二社との事業連携を積極的に推進しております。当該取り組みを含め、当社の主力事業領域である「メディア広告&ソリューション」と「トライアルマーケティング&EC」における非連続的な成長の実現や、それら事業領域に次ぐ第3の柱となる事業の育成といった中長期的な企業価値向上に繋がる投資については、当期以降も継続して行っていく予定であります。

(注1) 当社グループにおけるカテゴリーマネジメントとは、会員の皆様にマッチする商品を調達・掲載することから、適正な価格(お試し費用)で提供するまでの、一連の業務管理と定義しています。

(注2) 本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上